

シジミチョウの仲間(つづき)



★**ミズイロオナガシジミ**
うす暗い森の下草や低木上に止まっていることが多い。クリの花でもみかける。

★**ウラナミアカシジミ**
橙色のはねのうらに、黒い斑点がきれいに並ぶ。クリなどの白い花でよくみかける。



★**アカシジミ**
橙色のはねのうらに、白い線の模様がある。メスは若いコナラの枝先などに産卵する。

ベニシジミ
夏の成虫は橙色の模様が、やや黒ずむ。シジミチョウの中では、もっとも数が多い。



ヤマトシジミ
はねのうら側は暗い灰色で、マジックで描いたようなはっきりとした斑点がある。

ルリシジミ
はねのうら側は明るい灰色で、シャープペンで描いたような細かな斑点がある。

★:初夏(5月下旬~6月頃)だけみられる

夏のチョウはどこにいる？

木の葉の陰で休む



日差しが強い日には、チョウの姿はあまり見られません。そんな日は葉の裏側を探してみましよう。

吸蜜・吸汁



蜜を求めて、チョウが花に止まるかもしれませんが。カナブンなどと一緒に樹液を吸うものもいます。

吸水



地面にチョウが止まっていますか？口吻(こうふん)を伸ばしていたら、水分やミネラルなどを補給しています。

里山の生きもの探検

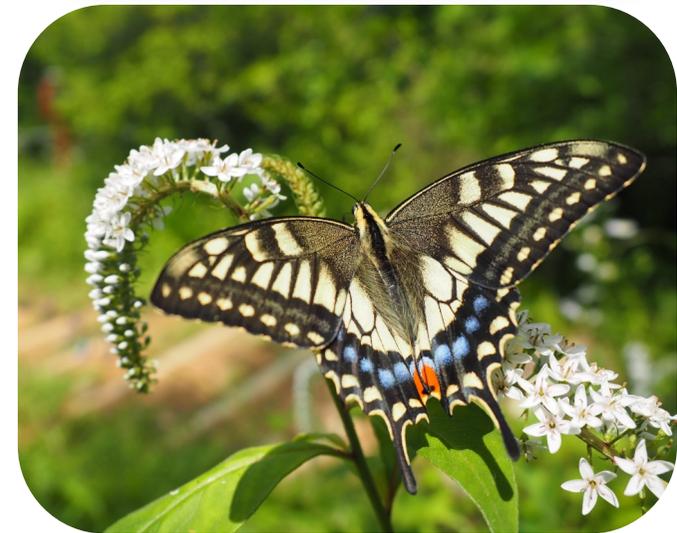
夏を彩るチョウの仲間①

~アゲハチョウ、シロチョウ、シジミチョウ編~

夏の小峰公園では、

道端に咲く花に目を向けると

たくさんチョウに出会えます。



小峰ふれあい自然郷
(都立小峰公園)

小峰ビジターセンター

〒190-0152 東京都あきる野市留原284-1

TEL : 042 (595) 0400 FAX : 042 (595) 2365



指定管理者：公益財団法人 東京都公園協会

探してみよう!! 小峰公園の夏のチョウ①

大きさの目安



※大人の手の約100ミリ

アゲハチョウの仲間
はねが大きな種類が集まる
チョウの仲間



クロアゲハ

後はねのうら側に赤い斑点模様がある。クサギの花や森の木陰でみかける。



ナガサキアゲハ

西日本を中心に分布していたが、最近では温暖化などにより関東でも普通にみられる。



モンキアゲハ

後はねの中央に黄白の大きな斑点模様がある。吸水のため田んぼに集まる。



オナガアゲハ

後はねの尾が長いのが名前の由来。クサギやヤマユリの花にやってくることもある。



ジャコウアゲハ

後はねのうら側と尾に赤い模様がある。メスはウマノスズクサの葉に卵を産みつける。



アゲハ

はねは黒と白のしま模様。植物の花だけではなく、水辺で吸水することもある。



キアゲハ

はねは黒とカスタードの様な黄色のしま模様。やや湿った環境でよくみられる。



カラスアゲハ

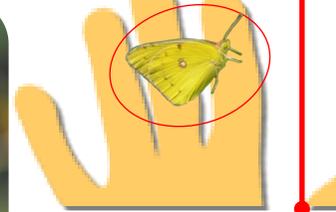
はねの表面が青緑に輝く。クサギの花や、吸水のため田んぼに集まることもある。



アオスジアゲハ

黒いはねに青緑のラインがよく目立つ。夏はリョウブの花や、地面で吸水している。

大きさの目安



※大人の手の約100ミリ

シロチョウの仲間

もっともよくみかけるチョウの仲間



キタキチョウ

はねのうら側に黒い斑点がある。マメ科などの花に集まり、地面で吸水することもある。



モンキチョウ

後はねのうら側に白い斑点があり名前の由来になっている。タンポポなどの花に来る。



モンシロチョウ

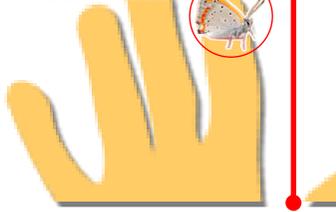
白いはねに黒い斑点がある。田畑近くのタンポポや菜の花でよくみかける。



スジグロシロチョウ

白いはねに黒いライン模様がある。モンシロチョウより、ややうす暗い環境を好む。

大きさの目安



※大人の手の約100ミリ

シジミチョウの仲間

指先に乗るほどの小さなチョウの仲間



ウラギンシジミ

春先はメスをよくみかけ、はねのうら側と表側の模様が白銀色。オスは表側が橙色。



ゴイシジミ

はねうら側に基石のような黒い斑点がある。幼虫はササにつくアブラムシを食べる。

裏面につづく→